

令和2年

消防統計

(火災・救急・救助統計について)

救急車は
地域の限られた救急資源



大垣消防組合消防本部

503-0933 大垣市外野3丁目20番地2

代表番号 0584-87-0119

FAX番号 0584-87-1515

目 次

令和2年消防統計概要	1～2
火災統計	3～4
原因別出火件数	3
月別出火件数・損害額	4
建物火災用途別件数	4
10年間の出火原因別順位 ワースト3	4
救急統計	5～6
救急事故種別	5
傷病程度別搬送人員	6
年齢別搬送人員	6
10年間の救急出動件数	6
救助統計	7
その他の緊急出動	7

令和 2 年消防統計概要

令和 2 年における大垣消防組合管内 1 市 4 町《大垣市(上石津地域を除く。)・神戸町・輪之内町・安八町・池田町 人口約 22 万 3 千人》の火災・救急・救助などの状況をまとめました。

◆ 火災統計から・・・

総出火件数は 7 件の減少、建物火災は全火災の約 45%

出火件数は 49 件で、前年と比べ 7 件減少し、昭和 45 年大垣消防組合発足以来、最も少ない件数となっています。

組合構成市町別では、大垣市が 33 件(4 件減少)、神戸町が 6 件(1 件増加)、輪之内町が 3 件(2 件減少)、安八町が 4 件(1 件減少)、池田町が 3 件(1 件減少)となっています。

火災種別では、建物火災が 22 件(9 件減少)、車両火災が 7 件(増減なし)、その他の火災が 20 件(2 件増加)でした。

建物火災のうち住宅(共同・併用住宅等含む。)からの出火件数は 13 件で、全建物火災件数の約 59% となっています。住宅火災において、住宅用火災警報器の設置により、火災をぼや程度に軽減できた事案がありました。まだ、住宅用火災警報器を設置していない人は、大切な生命、財産を守るためにも設置してください。また、設置から 10 年が経過している人は、電池の取替え時期のため、点検しましょう。

出火原因の 1 位は「放火(疑い含む。）」、2 位は「火入れ(枯草焼き)」

出火原因別では「放火(疑い含む。）」が 8 件、「火入れ(枯草焼き)」が 4 件、「たばこ」、「排気管」及び「溶接機・切断機」が各 3 件となっています。

過去 10 年のうち、平成 22 年から 8 年連続「放火(疑い含む。）」が 1 位で、平成 30 年から 2 年間は「火入れ(枯草焼き)」が 1 位でしたが、再び 1 位となっています。放火されやすい物を家の周りに置かないようにしましょう。

「火入れ(枯草焼き)」は、前年から半分以下に減っていますが、田畑の畔での枯草焼きから風にあおられて建物や車両に延焼した火災が発生していますので気を付けましょう。

「たばこ」は、3 件全て屋外で発生し、たばこの火種が残ったまま捨てたことにより出火しています。完全に消したことを確認して、投げ捨てはしないようにしましょう。

「排気管」のうち 2 件は、自動車のメンテナンス不足に起因して発生しています。

「溶接機・切断機」は、解体作業場等で発生しています。職種で慣れている作業員でも、燃えやすい物が近くにないことを確認するなど基本を怠ることのないようにしましょう。

火災による死者は 0 人、負傷者は 4 人

火災による死者は 0 人で、13 年ぶりに 0 人となりました。また、負傷者は 4 人発生しましたが、前年より 6 人減少しています。死傷者の発生が少しでも減るよう予防広報を続けていきます。

火災による損害額は 10 億円越え

火災損害額は 10 億円を超えています。なお、昭和 45 年大垣消防組合発足以来、最も高くなっています。これは、大規模な工場火災が発生したことが起因しています。

◆ 救急統計から・・・

救急出動件数は 8,952 件、1 日あたり約 24 件出動

救急出動件数は 8,952 件で、前年と比べ 1,180 件減少しました。1 日平均出動件数は約 24 件で、過去 10 年間で最も少なかったこととなります。

救急事故種別をみると、急病が 5,958 件(約 67%)で全出動件数の半数以上を占め、次いで一般負傷が 1,320 件(約 15%)、交通事故が 781 件(約 9%)となっています。

搬送人員は 8,491 人で、そのうち入院加療を必要としない軽症傷病者は 2,486 人(約 29%)となり、前年の 3,349 人(約 35%)と比べ減少しています。今後も救急車の適正利用について考え、行動することを呼びかける広報を継続していきます。

◆ 救助統計から・・・

救助出動件数は2件増加、前年に引き続き交通事故が半数以上

救助出動件数は56件で、前年と比べ2件増加となりました。

内訳をみると、交通事故による出動が全体の6割以上を占め、次いでその他の事故、機械による事故等の順になっています。また、前年からの大幅な増減はありませんが、種別別にみると火災が減少、水難事故が増加しています。

◆ その他の緊急出動から・・・

火災・救急・救助出動以外の出動件数は876件で前年と比べ37件増加しました。なお、令和2年から出動の区分を見直し細分化を図り、活動内容を分析しやすくしました。その結果、出動種別では、多い順に、①焼却行為、②危険性物質の流出、漏えい等、③通報確認となりました。また、PA連携出動が686件で全体の約80%を占め、昨年同様最も多い出動となっています。

火災統計

区分	令和2年 (A)	令和元年 (B)	増減数 (A)-(B)	市町別					
				大垣市	神戸町	輪之内町	安八町	池田町	
火災件数(件)	49	56	△7	33	6	3	4	3	
火災種別	建物火災	22	31	△9	16	2	2	2	-
	林野火災	0	0	0	-	-	-	-	-
	車両火災	7	7	0	2	3	-	2	-
	船舶火災	0	0	0	-	-	-	-	-
	航空機火災	0	0	0	-	-	-	-	-
	その他の火災	20	18	2	15	1	1	-	3
焼損面積	床面積(m ²)	4,368	3,275	1,093	1,302	263	2,733	70	-
	表面積(m ²)	51	69	△18	16	34	-	1	-
	林野(a)	0	0	0	-	-	-	-	-
焼損棟数(棟)	42	46	△4	26	10	3	3	-	
焼損棟数(棟)	全焼	17	11	6	10	3	3	1	-
	半焼	1	4	△3	-	-	-	1	-
	部分焼	12	14	△2	7	5	-	-	-
	ぼや	12	17	△5	9	2	-	1	-
り災世帯(世帯)	18	22	△4	11	6	1	-	-	
り災人員(人)	43	65	△22	22	20	1	-	-	
損害額(千円)	1,222,756	282,098	940,658	151,153	19,082	1,051,461	1,060	-	
死者(人)	0	4	△4	-	-	-	-	-	
負傷者(人)	4	10	△6	3	1	-	-	-	
うち30日死者	0	0	0	-	-	-	-	-	

30日死者とは、火災により受傷後48時間を経過し、30日以内に死亡した者をいう。

(△は負数を表す)

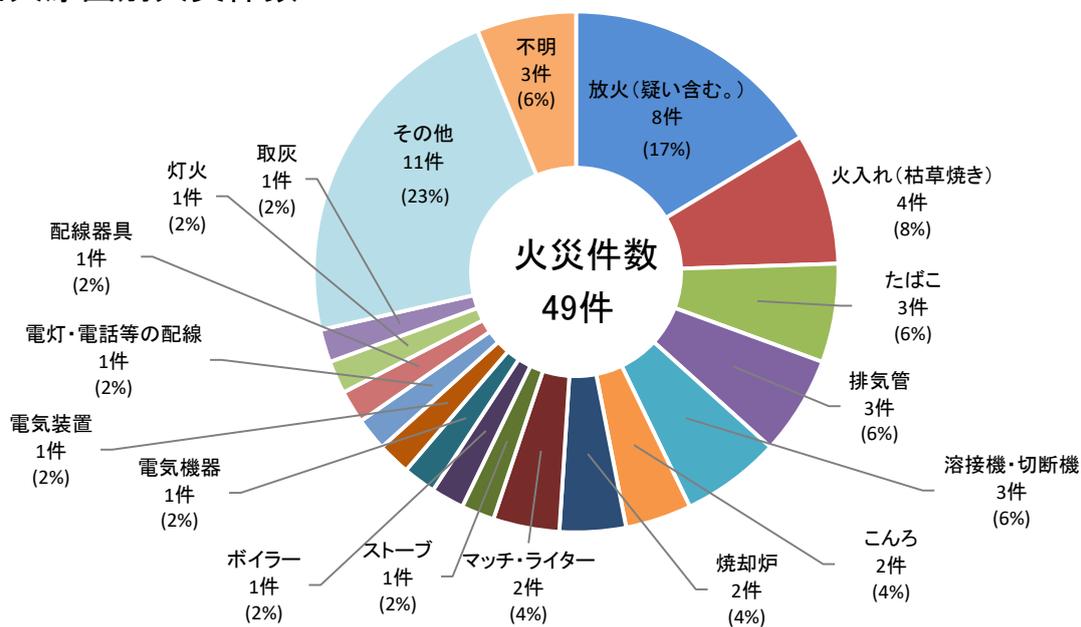
1日平均火災件数…約0.13件(約7日に1件)

1日平均火災損害額…約335万円

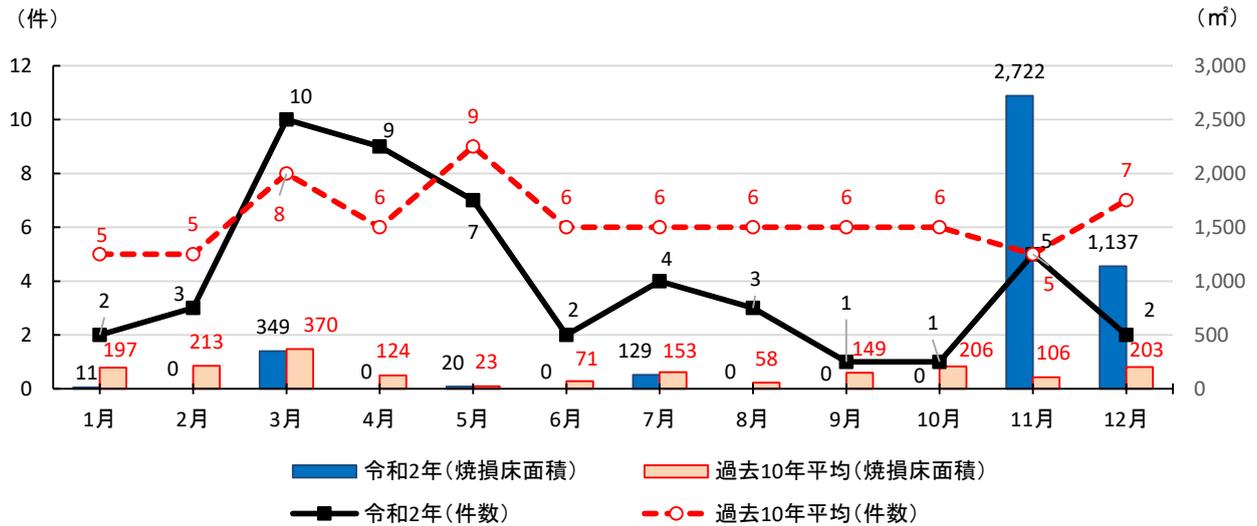
火災1件あたりの平均損害額…約2,495万円

建物火災1件あたりの焼損床面積…約199m²

◆ 出火原因別火災件数



◆ 月別火災件数と焼損床面積



◆ 建物火災用途別件数

用途	住宅部分を含む用途			住宅部分を含まない用途			合計
	専用住宅	共同住宅	併用住宅等	特定用途	工場等	その他	
件数(件)	8	3	2	5	3	1	22

特定用途とは、飲食店などの不特定多数の人が出入りする建物をいう。

※火災件数49件のうち、建物火災は22件

◆ 出火原因の推移

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
1位	放火(疑い含む.) 18件	放火(疑い含む.) 17件	放火(疑い含む.) 14件	放火(疑い含む.) 17件	放火(疑い含む.) 16件	放火(疑い含む.) 各7件	放火(疑い含む.) 10件	放火(疑い含む.) 火入れ(枯草焼き) 各8件	火入れ(枯草焼き) 9件	火入れ(枯草焼き) 9件	放火(疑い含む.) 8件
2位	たばこ 7件	こんろ 7件	こんろ たばこ 各5件	たばこ 11件	たばこ 火入れ(枯草焼き) 各7件	こんろ 各7件	電灯・電話等の配線 火入れ(枯草焼き) 各6件	火入れ(枯草焼き) 各8件	放火(疑い含む.) 7件	たばこ 各5件	火入れ(枯草焼き) 4件
3位	こんろ 6件	火遊び 6件	電気装置 6件	電灯・電話等の配線 各7件	火入れ(枯草焼き) 配線器具 各5件	火入れ(枯草焼き) 各5件	たばこ 各6件	たばこ 7件	たばこ 6件	たばこ 各5件	たばこ 排気管 溶接機・切断機 各3件
管内火災件数	83件	76件	62件	81件	82件	83件	68件	78件	72件	56件	49件

救急統計

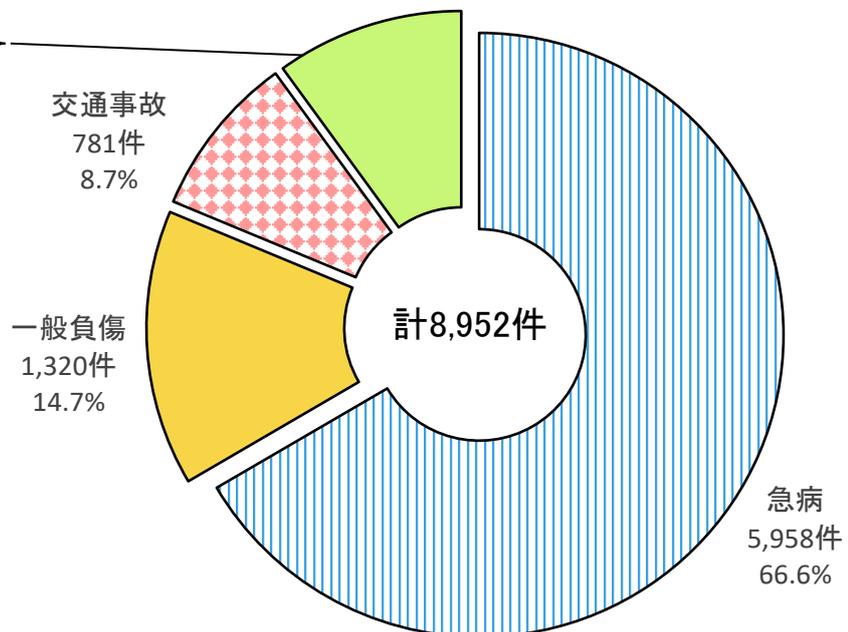
種別	区分 件数 人員	令和2年 (A)	令和元年 (B)	増減数 (A)-(B) (C)	市 町 別					高 速 道 路	管 外
					大 垣 市	神 戸 町	輪 之 内 町	安 八 町	池 田 町		
火 災	出動件数	30	29	1	17	4	2	5	1	1	-
	搬送人員	4	7	△ 3	2	1	-	-	-	1	-
自然災害	出動件数	1	1	0	1	-	-	-	-	-	-
	搬送人員	1	1	0	1	-	-	-	-	-	-
水難事故	出動件数	3	0	3	2	-	1	-	-	-	-
	搬送人員	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
交通事故	出動件数	781	918	△ 137	519	78	35	65	73	9	2
	搬送人員	842	967	△ 125	550	92	35	72	79	10	4
労働災害	出動件数	94	114	△ 20	55	8	12	13	6	-	-
	搬送人員	95	114	△ 19	55	8	13	13	6	-	-
運動競技	出動件数	70	113	△ 43	52	11	2	3	2	-	-
	搬送人員	72	122	△ 50	54	11	2	3	2	-	-
一般負傷	出動件数	1,320	1,370	△ 50	967	107	55	73	118	-	-
	搬送人員	1,285	1,331	△ 46	940	106	55	70	114	-	-
加 害	出動件数	13	23	△ 10	7	3	-	1	2	-	-
	搬送人員	12	19	△ 7	6	3	-	1	2	-	-
自損行為	出動件数	96	62	34	67	10	4	7	8	-	-
	搬送人員	77	47	30	54	9	3	4	7	-	-
急 病	出動件数	5,958	6,816	△ 858	4,380	407	217	369	580	5	-
	搬送人員	5,631	6,508	△ 877	4,110	393	212	355	556	5	-
そ の 他	出動件数	586	686	△ 100	467	30	14	19	55	-	1
	搬送人員	472	558	△ 86	370	22	13	16	51	-	-
合 計	出動件数	8,952	10,132	△ 1,180	6,534	658	342	555	845	15	3
	搬送人員	8,491	9,674	△ 1,183	6,142	645	333	534	817	16	4
不 搬 送		574	600	△ 26	457	30	15	29	40	1	2

(△は負数を表す)

1日平均出動件数……………約24件

◆ 救急事故種別

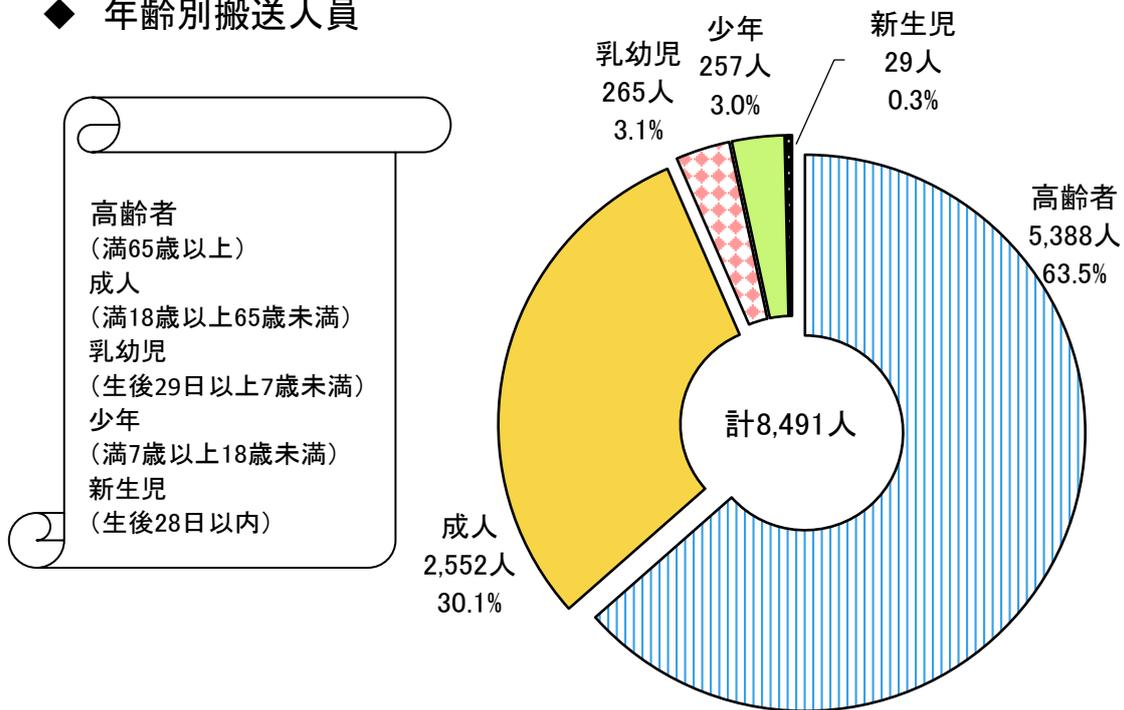
自損行為	96件
労働災害	94件
運動競技	70件
火災	30件
加害	13件
水難事故	3件
自然災害	1件
その他	586件
計	893件 10.0%



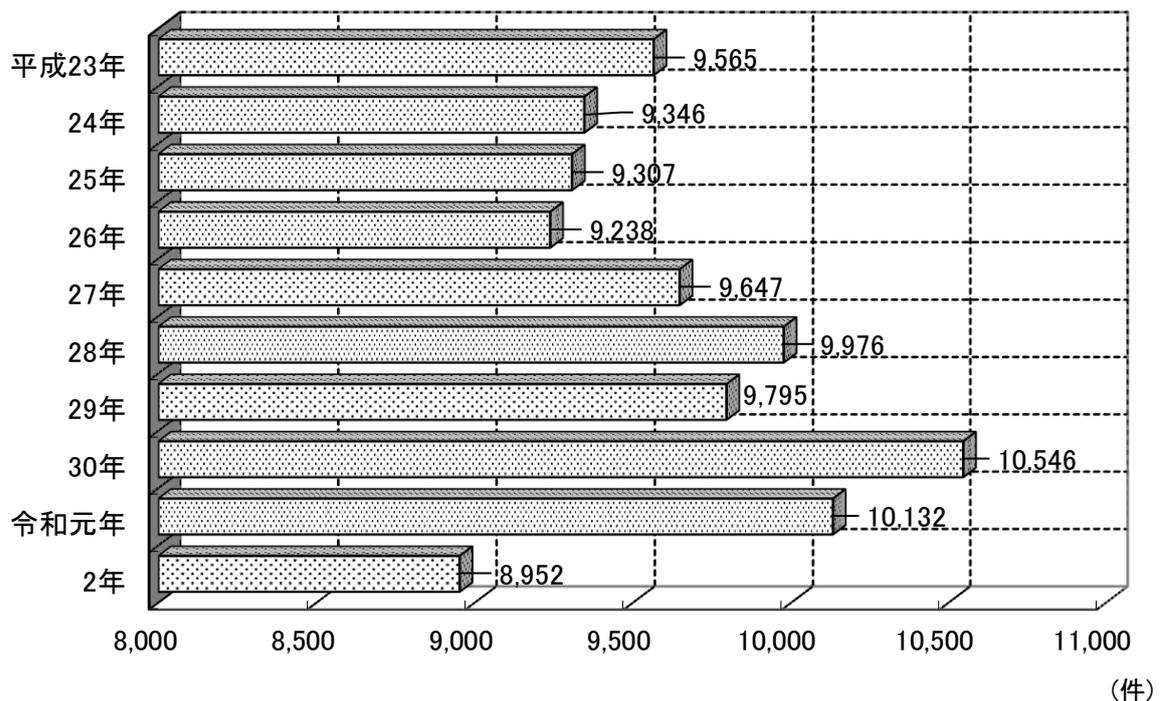
◆ 傷病程度別搬送人員

軽症	中等症	重症	死亡	その他	合計
2,486人	5,045人	956人	4人	0人	8,491人
29.28%	59.41%	11.26%	0.05%	0.00%	100%

◆ 年齢別搬送人員



◆ 10年間の救急出動件数



救助統計

種別	区分 件数 人員	令和 2年 (A)	令和 元年 (B)	増減数 (A)-(B) (C)	市 町 別					高 速 道 路	管 外	
					大 垣 市	神 戸 町	輪 之 内 町	安 八 町	池 田 町			
火 災	建物	出動件数	0	2	△ 2	-	-	-	-	-	-	-
	救助人員	0	4	△ 4	-	-	-	-	-	-	-	-
建物以外	出動件数	0	1	△ 1	-	-	-	-	-	-	-	-
	救助人員	0	1	△ 1	-	-	-	-	-	-	-	-
交通事故	出動件数	34	35	△ 1	18	3	3	4	5	1	-	-
	救助人員	27	33	△ 6	14	1	5	4	3	-	-	-
水難事故	出動件数	5	0	5	2	1	2	-	-	-	-	-
	救助人員	5	0	5	2	1	2	-	-	-	-	-
機械による事故	出動件数	5	1	4	3	-	1	-	1	-	-	-
	救助人員	5	0	5	3	-	1	-	1	-	-	-
建物等による事故	出動件数	2	2	0	1	-	-	-	1	-	-	-
	救助人員	2	2	0	1	-	-	-	1	-	-	-
ガス及び酸欠事故	出動件数	1	0	1	-	-	-	-	1	-	-	-
	救助人員	1	0	1	-	-	-	-	1	-	-	-
自然災害事故	出動件数	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	救助人員	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
破裂事故	出動件数	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	救助人員	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の事故	出動件数	9	13	△ 4	6	-	-	2	1	-	-	-
	救助人員	8	9	△ 1	6	-	-	1	1	-	-	-
合 計	出動件数	56	54	2	30	4	6	6	9	1	-	-
	救助人員	48	49	△ 1	26	2	8	5	7	-	-	-

(△は負数を表す)

1日平均出動件数……約0.15件 (約7日に1件)

その他の緊急出動

区分	令和 2年 (A)	令和 元年 (B)	増減数 (A)-(B)	市 町 別					高 速 道 路	管 外	
				大 垣 市	神 戸 町	輪 之 内 町	安 八 町	池 田 町			
警戒・調査活動	危険性物質の流出、漏えい等	43	163	19	28	3	-	7	5	-	-
	焼却行為	67			41	3	5	5	13	-	-
	通報確認	41			37	1	1	1	1	-	-
	焼損事故	8			5	2	-	-	1	-	-
	怪煙	6			6	-	-	-	-	-	-
	虚報	11			8	2	-	1	-	-	-
	自然災害	0			-	-	-	-	-	-	-
	その他	6			2	1	-	-	3	-	-
支援活動	PA連携	686	672	17	464	54	28	55	79	6	-
	集団災害	0			-	-	-	-	-	-	-
	へり支援	3			1	-	-	1	1	-	-
応援活動	5	4	1	-	-	-	-	-	1	4	
その他の活動	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	
合 計	876	839	37	592	66	34	70	103	7	4	

1日平均出動件数……約2.4件

警戒・調査活動 危険性物質の流出、漏えい等…危険性物質(ガソリン等)の流出、漏えい等により出動し、警戒又は調査したもの
 焼却行為…枯草焼き等の焼却行為に対する通報により出動し調査の結果、火災に該当しないもの
 通報確認…自動火災報知設備等の発報により出動し、調査の結果誤りであると判明したもの
 焼損事故…鍋の空焚き等で火災として取扱うに至らないもの
 怪煙…煙の発生により出動し、警戒又は調査したもの
 虚報…救急及び救助以外で出動した結果、その事実の発生がなかったもの
 自然災害…風水害等により出動し、警戒又は調査したもの
 その他…上記以外に警戒又は調査したもの

支援活動 PA連携(消防車と救急車が連携して救急活動を行うこと)、集団災害時の支援活動、防災へり等の支援活動したもの
 応援活動 管轄以外の近隣市町の火災に出動したもの

点検していますか？

住宅用火災警報器！

～設置後10年が経過した電池式の住宅用火災警報器はありませんか？～

～電池式の住宅用火災警報器の点検を！～



電池式の住宅用火災警報器の電池交換の目安は、約10年と言われてい
ます。設置してから10年が経過している住宅用火災警報器は、点検又は電
池の交換を行ってください。また、有事の際に確実に作動するよう定期的
に点検を実施しましょう。

なお、消防署が点検や電池交換を業者に委託することはありませんので、
悪質な訪問業者には十分ご注意ください。

～未設置の場合は、早期設置を！～

全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されています。
住宅用火災警報器は、火災の早期発見につながる非常に有効なもので
ので、設置されていない住宅は、早急に設置してください。

2020年度 全国統一防火標語

その火事を 防ぐあなたに 金メダル

消防情報 (テレホン
サービス)

救急GO! それ! 1、2

<0180>995-012